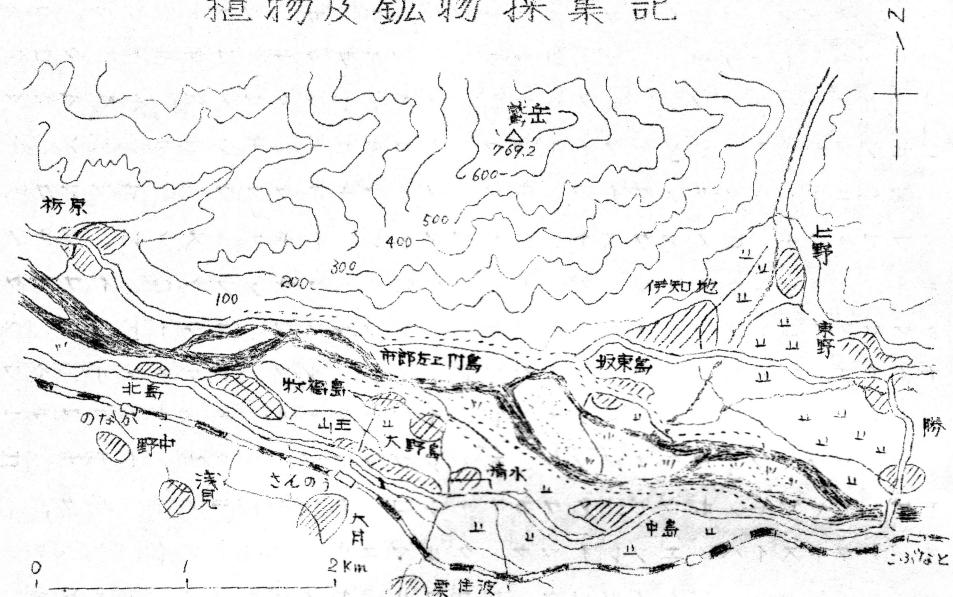


大野郡北郷村坂東島方面 植物及鉱物採集記



昭和28年6月21日本会及大阪博物館共催で植物及び鉱物の採集会を開いた。昨夜系の雨も小降り成り、午前七時播磨町を中心にして行十二名、野中瀬に下車、丸頭姫川を渡り、播磨から坂東島迄約1km余り進むと、植物採集会はながら進む。

當地は丸頭姫川の河畔の平地と山麓とを含む地域で、植物も多種多様で實に良い採集会であった。特にシダの種類の多い事と、アケビ科のムベを採集した事は、参加者一同大喜びであつた。やがて石灰山も終り坂東島鉱山に五午頃到着する。昼食の後、鉱山の總務を送致主任、採掘主任より聞き、坑内及び選鉱工場を見学したり鉱物を採集したりした。獲物に重さを加えたりユツクや胸巣を肩にして、重量に苦しみつゝも獲物に満足した一行は、やつとの思いで小舟渡駅えなどり着き、電車で夕暗迫る福井に帰つて来た。

主な採集物

植物 マブツゲツ、イタチシダ、イスシダ、ウラボシノコギリシダ、サカグイノデ、イノデ サイゴクベニシダ、ヒメワラビ、コモチシダ、イタチシダ、シケシダ、ホシダ、イヌガシソク、シシガシラ、クジヤクシダ、イヌワラビ、ヘビノネゴザ、イノモトソク、コモチマンネングサ、ヌカボ、キリネガヤ、カモジグサ、オズメノチャヒキ、ザラツキイチゴツナギ、キウリグサ、ノジシヤ、スズサイコ、ネナシカズラ、サハラナデシコ、ムシリナデシコ、カワラヨモギ、サハラマツバ、ヨツバムグラ、カナムグラ、ホタルブクロ、ナンテンハギ、クサフジ、ツルフジバカマ、ネコハギ、ミソハギ、ヌスビト

ハギ、ハギ、メドハギ、ムベ、ゴヨウアケビ、オカトラノオ、サクラタデ、
ハルタデ、ヤツラスゲ、カニツリグサ、カヂノキ、アキノハコグサ、シモ
ツケ、ムラサキシキズ、ヤマアリ、クララ、クルマバナ、タツナミサウ、サ
ルナシ、カキドウシ、ハナイバナ、ウシノミツバ、ウマミツバ、ナラガシツ
アキチヨウジ、ダンドボロギク、アカソ、アケメカシワ、シロダモ、トガラバ
鉱物

結晶實石灰岩、石灰岩、輝水鉛鉱、黃銅鉱、方解石、黃鐵鉱、方銻鉱、肉桂
鉱、磁硫鐵鉱、硫酸鐵鉱、水晶。

鉱山の概要

地質は石英内綠岩、石灰岩、頁岩及び片麻岩の古期の岩層を基底とし、之
を被覆又は貫いて安山岩が広く分布し一部綠泥化するも、多く硅化して
居る為極めて堅硬である。鉱床は古期岩層及び安山岩双方に胚胎せる交代鉱
床、接觸鉱床、脈等で成因は種々ある様である。鉱床の形狀は楕円形に近
い壠状で鉱床と母岩との境界は明瞭でなく多く漸移的である。鉱床中又はそ
れ辺縁には南北に亀裂が多い。

鉱石の品位は金鉛 6%、銻 4%、銅 1%、銀 150~200(トン当り)である。

以上のように将来益々發展する余地がある。〔荒川九兵衛記〕

南條郡木ノ芽鉱山採集記

昭和28年9月19日本木ノ芽峰越え採集会を同好会の人々と試みる。

昨夜未の雨も晴れて絶好の秋日和、午時55分福井發列車にて出発す。土曜
日のせいか参加者意外に少く一行僅かに6名。大樹駅に下車、車にしてニッ
厘の木ノ芽鉱山主と同行す。モクイモ、ハギ等秋の草木の咲き誇る山道をニッ
厘と進み、ニッ厘より左折して木ノ芽鉱山に向ふ。

終戦後長く休むとして居た本山も、本年春より再開、目下新坑を掘穿中で將
來有望との事。

鉱山に到着、見れば坑外には磁鐵鉱の山が出来、坑内夫は新坑道採掘準備
中である。こゝで自ほしいものを採集する。

午后一時木ノ芽鉱山を辞して木ノ芽峰に向ふ。午后三時頂上に着き、遠望
の美景にリエックの重さも忘れ清水にのどをうるぼして、秋日和の木ノ芽峰に
しづしその名残を惜みつゝ、一路新保に突進。

こゝで汗と重量の採集金を終える。

採集物

磁鐵鉱、紅柄、磁硫鐵鉱、褐鐵鉱、黃鐵鉱、

〔荒川九兵衛記〕